第25回　全日本民医連
神経・リハビリテーション研究会 in 京都

Vol.8　発行日：2015/11/6

神経リハin京都　一日目の様子！！

カールベッカー教授の講演
「生と死のケア-日本伝統の知恵に癒しを学ぶ」

ベッカー先生の流暢な関西弁、舞台上を駆けまわりながら体全体で表現する講演、そしてとてもダンディーな声で講演は繰り広げられます。
「患者さんに医療を提供するうえでは患者さん自身に決定してもらうことが重要」、「自分が受けたい医療を受けるために元気なうちから意思表示をしっかりしておく、もしくは患者さんに確認しておく」、「死を受け入れることは日本人が長い歴史の中でうまく培ってきた事で、それを参考にすることも良いのではないか」・・・死生観を考えることで医療職種が考えるべきこと、それだけでなく生きるうえで考えるべきことを学ぶことができました。

実行委員発表

ベッカー先生の講演に引き続き行われました。テーマは多職種協働をテーマにした研究2つと地域のバリアフリーを探った調査（清水寺）です。時間が少なくディスカッションの時間が持てなかったので、興味があればポスターをご覧ください！！

分科会

ポスターセッション

嚥下和菓子コーナー